

現代社会学科

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程・教育方法】

導入段階科目

基礎科目を通して専門科目の学習の土台となる基本的能力や幅広い教養を身につける。また、基礎演習Ⅰ・Ⅱ（１・２年次必修）を通じてアカデミック・スキルを学ぶことで、大学生活や専門的学習に必要な感覚・認識や作法・技法を身につける。

基礎・発段階科目

「コミュニケーションの社会学／メディアの社会学」、「身体の社会学／スポーツの社会学」、「ワークの社会学／キャリアの社会学」、「ジェンダーの社会学／家族の社会学」、「都市社会学／環境社会学」、「歴史社会学／比較社会学」といったカテゴリーで分けられた専門科目群を中心に選択履修し、現代社会に関する幅広い知見・視点を身につけつつ、自らの研究分野や専門領域を見定める。また、上記の専門領域を結びつける方法系科目・調査系科目といった科目群を選択履修することによって、社会科学的なリテラシーやスキルを習得する。

応用段階科目

それまで培ってきた社会科学的な関心・視点、知識・方法を踏まえ、演習Ⅰ・Ⅱ（３・４年次必修ゼミ）に所属し、各人が設定した研究テーマを深め、それを卒業論文として完成させる。この演習Ⅰ・Ⅱでは、学生同士が討議・交流するなかで専門的な研究テーマを掘り下げ、互いに研鑽しあい、担当教員による個別指導によって卒業論文の完成度を高める。

外国語科目

導入段階として、必修英語（１年次必修）に加えてドイツ語・フランス語・中国語・韓国語からひとつ選択（１年次必修）し、履修することでグローバルなパースペクティブを身につける。また、基礎・発段階として、外国語演習Ⅱ（２年次必修）を通じて、外国語で社会科学的な視点・方法を身につけることで、グローバルな水準のアカデミック・リテラシーを身につける。

演習科目

導入・基礎・発展・応用の段階に応じて、基礎演習Ⅰ・Ⅱ（１・２年次必修）、演習Ⅰ・Ⅱ（３・４年次必修）が４年間を通じて用意されている。こうした少人数のゼミ形式の授業を

通じて、学生同士が討議・交流しあい、担当教員と直接対話することで、現代社会を実践的に探求し、高い意欲と倫理的態度を培う。

【学修成果達成のための科目】

DP1 導入段階科目、基礎・発展段階科目

DP2 基礎・発展段階科目

DP3 基礎・発展段階科目

DP4 応用段階科目、演習科目

DP5 基礎・発展段階科目

DP6 演習科目

DP7 演習科目

DP8 外国語科目